

**[知財創造教育推進コンソーシアム]**

平成29年 1月27日（金）

<委員会資料>

**「地域の力を学校へ」推進事業**

## **「しが学校支援センター」の取組**

豊富な知識や経験を持つ地域の人々や企業・団体・NPO等（以下、「支援者」という。）が学校を支援する仕組みづくりを推進。



**学校と支援者をマッチングさせる取組**

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

地域・家庭教育係 参事 中川 浩 一

**なぜ、このような取組が実現できたか。**

## **1 県教育委員会が関与**

○教育委員会が率先して企業等と連携する姿を学校に見せる。

## **2 生涯学習課(社会教育主事)が所管 (学校教育課との連携)**

○生涯学習・社会教育主管課だからこそできる。

## **3 徹底した事業の「見える化」という発想**

○「しが学校支援メニューフェア」の開催(相互互恵関係の構築)

# 社会全体で子どもの育ちを支える施策の展開 [背景]

## [経緯]

平成14年度 県内公立小中学校に「**学校と地域を結ぶコーディネーター担当者**」(学校C)を校務分掌に位置付け。

○完全学校週5日制の実施 「しが子どもの世紀3カ年プロジェクト事業」

○全国に先駆けて、**学校C**として**地域連携**を推進する教員の資質向上を図る研修をスタート

平成16年度 都道府県では初の民間(企業)出身の教育長が就任。

①学校の**授業の創意工夫** (どうすれば授業がもっとおもしろくなるか)

②**家庭での教育、しつけ**が大切 (企業の協力を得て、保護者が子どもと接する時間を増やす)

③**地域ぐるみ**の教育が大切 (次代を担う子どもたちを地域で育てる仕組みを創る)

## ◆事業の「見える化」を意識した施策の展開 [県民への啓発・社会的機運の醸成]

平成16年度 **企業内家庭教育学習講座**の開催支援(家庭教育の重要性を啓発)

平成17年度 **地域ぐるみ**で子どもの育ちを支える「**通学合宿**」等を推進。

県内公立中学校2年生の**職場体験(5日間のチャレンジウィーク)**を推進

# 社会全体で子どもの育ちを支える施策の展開 [背景]

## [経緯]

平成18年度 家庭の教育に企業の力を！ **滋賀県家庭教育協力企業協定制度**の取組をスタート。

通称「しがふぁみ」以下の取組1～5のうち、2つ以上の取組を推進する企業・事業所と協定を結ぶ。

### 取組1 我が社の子育て環境づくりを進めよう！

平成29年1月現在 協定締結企業・事業所数 **1,419社**

○企業内家庭教育学習講座の開催・家庭教育啓発ポスターの掲示等

⇒ 協定締結企業・事業所の協賛により作成、下部に企業名を掲載

### 取組2 働く姿を見せよう、仕事について語り合おう！

○企業・事業所内「子ども参観日」の実施

○中学生や高校生への職場体験への協力 ⇒ 県内全ての公立中学校2年生の5日間のチャレンジウィーク受入

※5日間実施するのは、全国で滋賀県と兵庫県のみ

### 取組3 子どもの体験活動を支援しよう！

○企業の持つ専門性や技術力を生かした授業や体験学習の支援 ⇒ 平成19年度11月「しが学校支

○地域で行われる子どもの活動に対する施設などの提供

援センター」を立ち上げ、情報

を一元化。

### 取組4 学校へ行こう！

○学校行事などへの参加の働きかけ・休暇がとりやすい職場づくりに向けた取組

### 取組5 「淡海子育て応援団」に加入しよう！（健康医療福祉部子ども・青少年局所管）

# 教育しが

平成18年(2006年)7月10日発行 No.1 滋賀県教育委員会

## CONTENTS

- ☑ 「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動を進めています
- ☑ 社会での自立をめざした「滋賀キャリア教育」
- ☑ スクールカウンセラーが配置されています
- ☑ 幼稚園、保育所における教育・保育の充実
- ☑ 確かな学力向上のため
- ☑ 特色ある学校づくり
- ☑ 家庭の教育に企業の力を!
- ☑ 地域ぐるみで学校安全体制を!
- ☑ 外国人児童生徒ほっとサポート事業
- ☑ おでかけガイド
- ☑ 人権シリーズ

## “早起き”から生活リズムを整えよう!

～「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動を進めています～

### 「早起き」が一日を決める!

滋賀県教育委員会では、「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動を展開しています。子どもたちの望ましい基本的な生活習慣を育成し、生活リズムを向上させ、学習や外遊び・スポーツなど様々な活動にいきいきと取り組んでもらうことがねらいです。

早起きをすると、朝の光で脳が目覚めます。しっかり朝ごはんを食べると、体も目覚めます。よく食べよく活動すると、適度な疲れで早寝ができ、よく眠るとい生活リズムが身につきます。「早寝・早起き・朝ごはん」の取組を、まず「早起き」から始めましょう。



### 「ふれあいラジオ体操」に参加しよう!

子どもの基本的な生活習慣は、まず家庭でしっかりと教えることが大切です。また、地域全体で子どもの育ちを支えることも大変重要です。地域のおとなの人も子どもたちと一緒に「ふれあいラジオ体操」に参加しましょう。

いろんなことに挑戦しよう  
自分を伸ばす夏休みにチャレンジ!

# 教育しが

平成19年(2007年)12月号

No.7

滋賀県教育委員会



## CONTENTS

- ✓中学生チャレンジウィーク・高校生実社会体験
- ✓学校、家庭、地域、企業・事業所が連携した取組が広がっています
- ✓「滋賀教育の日」推進フォーラム2007・「滋賀教育月間」
- ✓平成19年度全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせします
- ✓学校紹介シリーズ②
- ✓人が輝く人権教育「もやもやしてる？」
- ✓「滋賀の教師塾」開校！
- ✓埋蔵文化財発掘調査レポート「西浅井町堀津港遺跡」
- ✓平成20年4月から県立高等学校の授業料等を改定します
- ✓しが生涯学習アカデミー公開講座
- ✓しが子ども読書サミット
- ✓「スポレク滋賀2008」マスコットキャラクター「キャプティ」が学校・幼稚園を訪問します！
- ✓放送大学4月入学生募集

### 企業・事業所で

## 中学生チャレンジウィーク

滋賀県では、すべての中学2年生が5日間の職場体験を行っています。

### 子どもの喜び、親の喜び

守山市立守山中学校

●実施期間 9月4日(火)～9月11日(火) ●受入先事業所数 64



保育園での子どもたちのお世話



パン屋さんでパン生地づくり

### 保護者の声

職場体験は、とても有意義なものでした。子どもは、つたない働きでも職場の方が喜んでくださることを励みにして、毎日事業所へ行くのを楽しみにしていました。そして、職場体験が終わると少しさびしがったりしている様子でした。

また、家では一日の出来事を生き生きと話してくれ、会話が増えたことが私の喜びでした。温かく見守ってくださった事業所の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

### 地域に根ざした職場体験

豊郷町立豊日中学校

●実施期間 8月6日(月)～8月10日(金) ●受入先事業所数 25

### 事業所の声

中学生らしい感性で、自分のできる精一杯の力を発揮して実習に取り組まれたと思います。もっと「しんどい」「疲れた」という言葉が多く聞かれるかと思っていたので、頑張る中学生に感心しました。



図書館での本の整理作業



ビニールハウスでのシクラメン栽培

### 生徒の声

・苦労もあり大変な仕事だったけれど、この5日間は楽しくて充実して、私なりによかったです。ここで学んだことを将来について考える資料にしたいです。  
・職場の人に自分の仕事ぶりをほめられたとき、最も心に残っています。

### 働くことの大変さを実感するよい機会に

湖北町立湖北中学校

●実施期間 8月6日(月)～8月10日(金) ●受入先事業所数 39

### 学校・生徒の声

今までは町内を中心に実施していましたが、体験期間が5日間になり、近隣市町にも体験場所を広げました。



工場での溶接作業



卸売市場での食品バック詰め

体験を終えた生徒の感想は、「立ちっぱなしで辛かった」「最初は、恥ずかしくて大きな声で挨拶ができなかった」「お客さんから「ありがとう」と言われ、とてもうれしかった」など様々でしたが、働くことの大変さを実感する貴重な体験となりました。

滋賀県教育委員会



写真：家庭教育啓発ポスター（滋賀県教育委員会）

# 家庭の教育に 企業の力を！？

# 県内企業・事業所と県教育委員会のトップが

## 直筆の署名をもって、協定を結ぶ

### 滋賀県家庭教育協力企業協定書

家庭教育は 未来を担う子どもたちを  
育てる大切な営みであり社会のみんな  
で支えあうことが重要です

松下電器産業株式会社ホームアプライアンスグループは  
滋賀県教育委員会と「滋賀県家庭教育  
協力企業協定」を締結し 企業における  
子どもの健やかな育ちのための取組を  
推進します

平成18年(2006年) 6月 28日

松下電器産業株式会社

滋賀県教育委員会

松下ホームアプライアンス社

副社長 藤井 康照

教育長

齋藤 俊信



New

## 家庭の教育に企業の力を！

### 県内企業43社と滋賀県家庭教育協力企業協定を締結しました

家庭の教育は、子どもが、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣、生活能力、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なルールやマナーなどを身につける上で重要な役割を担っています。

家庭の教育をはじめ、未来を担う子どもたちを育てる様々な営みを社会全体で支え合うため、企業および事業所と県教育委員会が協定を結び、企業における子どもたちの健やかな育ちのための取組を推進することを目的に、新たに「滋賀県家庭教育協力企業協定制度」を設けました。

#### 滋賀県家庭教育協力企業協定締結式



#### 各企業の取組

- 取組① 我が社の子育て環境づくりを進めよう！
- 取組② 働く姿を見せよう、仕事について語り合おう！
- 取組③ 子ども体験活動を支援しよう！
- 取組④ 学校へ行こう！
- 取組⑤ 「淡海子育て応援団」に加入しよう！

この中から2つ以上の取組を実施し、家庭の教育を支援していただいています。

#### 締結企業一覧（五十音順 敬称略）

株式会社 アヤハディオ	高島鋳建株式会社
株式会社 石定	高橋金属株式会社
NECライティング株式会社 滋賀工場	株式会社 たねや
株式会社 近江兄弟社	株式会社 寺嶋製作所
社会福祉法人 志賀福祉会	天馬株式会社 滋賀工場
特別養護老人ホーム 近江舞子しょうぶ苑	東レ株式会社 滋賀事業場
大津板紙株式会社	長浜信用金庫
オムロン株式会社 草津事業所	夏原工業株式会社
関西電力株式会社 滋賀支店	日本ソフト開発株式会社
北近江リゾート	株式会社 比叡ゆば本舗ゆば八
草津電機株式会社	廣瀬バルブ工業株式会社
株式会社 コホク	株式会社 びわこ銀行
三洋電機株式会社 HAカンパニー	株式会社 プリチストーン彦根工場
滋賀近交運輸倉庫株式会社	兵神装備株式会社 滋賀工場
株式会社 滋賀銀行	株式会社 平和堂
新江州株式会社	株式会社 増田工務店
セキシン電子株式会社	松下電工株式会社 彦根工場
積水化学工業株式会社 滋賀水口工場	松下電器産業株式会社
積水樹脂株式会社 滋賀工場	ホームアプライアンスグループ
積水ハウス株式会社 滋賀工場	株式会社 村田自動車工業所
大日本スクリーン製造株式会社 彦根地区事業所	株式会社 村田製作所 八日市事業所
ダイハツ工業株式会社 滋賀（竜王）工場	山本電工株式会社
	竜王村田株式会社

協定締結企業・事業所名を

その都度、「教育しが」で公表

## 「地域の力を学校へ」

○平成19年度 当課に「**学校支援ディレクター**」を配置(4月)  
情報の一元化をめざし「**しが学校支援センター**」を設置(11月)

**第1回「しが学校支援メニューフェア」を開催**

⇒ 会場は県施設を活用し、ブース展示も壁を利用するなど工夫し**ゼロ予算**で実施。以後、平成20年度以降は会場費のみを確保し、継続開催。

○平成28年度 **第10回「しが学校支援メニューフェア」を開催するに至る。**

**楽しく学べる！工夫とアイデアがいっぱい**

## **「しが学校支援メニューフェア」とは**

- 支援者と学校の連携を深めるために、「学校支援メニュー」に登録する支援者と教員等が一堂に会し、気軽に意見交換できる場を設定したもの。（年1回開催）
- 支援者が「学校支援メニュー」について紹介する展示ブースを設け、参加した教員等が各ブースを自由に見学し、支援内容について、教員等と支援者が相互理解を深める取組。
- 平成19年度に第1回を開催、以降平成28年度で10回目を迎える。

## 平成19年度 第1回 [46ブース]

### 「しが学校支援メニューフェア」(1月)

- まず、教育委員会が支援者が提供する「学校支援メニュー」のクレジットを担保することから。
- そして、支援者と教員をつなぐ。
- 互いのニーズを理解する見本市。
- 机・ネームプレートと場所のみ準備。



# ワイド 滋賀ニュース



企業広報の説明を聞く教員ら  
(野洲市・県総合教育センター)

科学、環境、国際理解…  
**企業や団体がメニュー提供**

2008.1.26

## 出前授業活用して

企業や公的機関、NPOなどによる学校支援のメニュー紹介が二十五日、野洲市の県総合教育センターであった。教職員ら百五十人が参加して授業への導入の可能性を探った。

### 野洲で紹介イベント

は「本社は京都だが、滋賀は野洲などにも事業所があり、地元企業としてアピールしたい。出前授業を通じて、理科離れを食い止め、将来的に当社に入社することが

### 教職員に特性PR

総合学習の多様化と、専門・団体が参加。環境や国の国際理解の高い授業による子供への学習意欲向上が狙い。プロとにアセスを設置した。紹介ランドイメーションを上げようとする企業のニーズに応え、総合学習の企画に悩む教員らを助ける意味もあった。県教委などが初めて開いた。村田製作所は自転車ロボットを持ち込んだ。吉川浩センターには、四十六企業一・企業広報課係長(44)と話していた。(立川真悟)

○第1回「学校支援メニューフェア」の様子は、びわ湖放送「教育ウイークリーレポート」をはじめ、新聞各紙でも取り上げられ注目を浴びる。

○以後、全国各地からの問合せや視察の受け入れに対応する。

○第1回開催に向けては、県教育委員会事務局内での連携も図り、学校教育課が所管する「総合的な学習の時間」担当者研修(小中教員対象)の中に「学校支援メニューフェア」を位置付け、教員の参加体制を確保。

平成28年度 第10回 [84ブース]  
「しが学校支援メニューフェア」(7月)

- どうすれば活用していただけるか、支援者が教員へ積極的にアピール。
- 支援者同士も互いに切磋琢磨、年々、量も質も向上。
- 教育の当事者意識の高揚へ。



[施策の方向性]

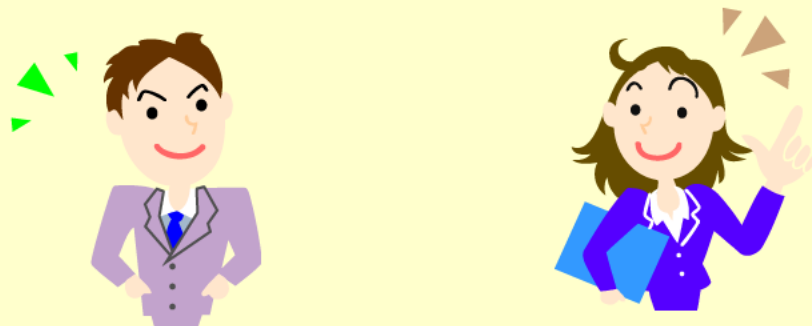
○「地域とともにある学校」への転換

○地域資源の積極活用や社会教育との連携

⇒ 「社会に開かれた教育課程」を実現



- こんな授業をしたい…。
- 専門的な知識や技能を持った方がおられたら…。様々な連携をしたいが、どのように連絡したらよいか。
- 連絡調整する時間的な余裕がない。



## 学校側

(幼・小・中・高等学校・特別支援学校・PTA等)

## 願いを共有



人と人とのつながりを創る

## 支援者側

(地域の人々や企業・団体・NPO等)

- 学校への支援を考えているが、どうしたらいいか。
- 学校は、どんなことを望んでいるのか。
- これまで経験してきたことを次世代に伝えたい。
- 学校とつないでほしい。

# 「しが学校支援センター」の役割と機能

## 1 「学校支援メニュー」一覧の作成

- ・専門的な知識や技能を生かし、支援者が提供する学校支援情報の収集・発信等。

※支援者が行う出前授業や見学、校外学習の受け入れ等を学校支援メニューとして情報を一元化。子どもたちの学習の基礎・基本の定着を図ったり、補充・発展学習をサポートしたり、主として学校の授業で活用できるメニューを整理。

## 2 学校と支援者をつなぎ、連携授業をコーディネート

- ・学校からの依頼・相談を受けて、該当する支援者と連絡・調整を行い、学校の希望と支援者の提案をマッチングさせる。

※双方の思いや願いを受け止め、当課に配置する学校支援ディレクターを中心により効果的な連携を図る。



# 「学校支援メニュー」一覧(HP)

滋賀県学習情報提供システム



[におねっととは](#)
[ご意見・ご質問](#)
[サイトマップ](#)
[文字拡大](#)

Google™ カスタム検索

学習をされる皆さまへの窓口

指導者・スタッフの皆さんへの窓口

企業の皆様への窓口

学校関係者への窓口

様式集

講座や教室で学びたい

ビデオ・DVDで学びたい

生涯学習について相談したい

しが生涯学習スクエア / しが生涯学習サテライト

## 「地域の力を学校へ」推進事業 「学校支援メニュー」一覧

企業・団体・NPO等が提供する、学校での出前授業や体験学習支援のメニュー一覧です。学校の要望にあわせてお選びください。



しが学校支援センターの取り組みを紹介しています。

### 講座カレンダー

← 2017年 1月 →

日	月	火	水	木	金	土
<a href="#">01</a>	<a href="#">02</a>	<a href="#">03</a>	<a href="#">04</a>	<a href="#">05</a>	<a href="#">06</a>	<a href="#">07</a>
<a href="#">08</a>	<a href="#">09</a>	<a href="#">10</a>	<a href="#">11</a>	<a href="#">12</a>	<a href="#">13</a>	<a href="#">14</a>
<a href="#">15</a>	<a href="#">16</a>	<a href="#">17</a>	<a href="#">18</a>	<a href="#">19</a>	<a href="#">20</a>	<a href="#">21</a>
<a href="#">22</a>	<a href="#">23</a>	<a href="#">24</a>	<a href="#">25</a>	<a href="#">26</a>	<a href="#">27</a>	<a href="#">28</a>
<a href="#">29</a>	<a href="#">30</a>	<a href="#">31</a>	01	02	03	04
05	06	07	08	09	10	11

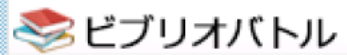


Click!

生涯学習課の取り組みを知りたい

その他の事業はこちら

地域づくり型 生涯カレッジ



子ども読書活動 支援センター

地域で学ぼう 出前講座 メニュー一覧

子どもの体験活動の推進

しがふあみ

しが学校支援センター 「学校支援メニュー」一覧

家庭教育学習資料 語り合いを通じた親育ち

# 「しが学校支援センター」のページ

滋賀県学習情報提供システム

におねっと



Shiga Prefectural Lifelong Learning Information Service System

生涯学習課の取り組みを知りたい

ホーム > 生涯学習課の取り組み > しが学校支援センター > 「地域の力を学校へ」推進事業

## 「地域の力を学校へ」推進事業

お気軽にお問い合わせください。

しが学校支援センター

地域の人々や企業・団体・NPO等が、学校を支援する仕組みづくりを推進！ TEL 077-528-4654 FAX 077-528-4962

ホーム

メニュー一覧

実践例

しが学校支援センター

メニューフェア

記事

動画

登録

企業・団体・NPO等が提供する、  
出前授業・体験学習支援メニューから、  
学校の要望にあわせてお選びください。



“学校支援ディレクター”が  
企業・団体等と学校間のコーディネートをします。

### 「学校支援メニュー」一覧

「学校支援メニュー」とは、企業・団体・NPO等が提供する  
学校での出前授業や体験学習支援メニュー一覧です。

「学校支援メニュー」  
一覧

#### 現在の登録数

平成29年1月17日現在

- ・登録団体数：183団体
- ・メニュー数：280

### 学校支援の実践例

学校支援の実践例

学校支援ディレクターが  
調整し実施した、  
実践例を紹介します。

# 「学校支援メニュー」一覧 (HP) の工夫

🔍  
「学校支援メニュー」  
一覧

Click!

## 分野別の 카테고리・キーワード検索

分野別で探す



キーワードから探す

キーワードを追加していくと条件が絞られていきます。対応教科や対象などを記入して検索してください。

Google™ カスタム検索

対応教科例：国語 社会 算数 数学 理科 生活 音楽 図画工作 美術 体育 保健体育 家庭 技術・家庭 英語  
道徳 特別活動 総合的な学習の時間

対象例：幼稚園児 保育園児 小学生 中学生 高校生 一般

また、授業形態（出前授業、見学/校外学習など）や授業内容に関わる様々なキーワードでの検索も可能です。

(例) 総合的な学習の時間 小学生 出前授業

「学校支援メニュー」一覧  
登録団体数(HP掲載団体)

→1月17日現在・・・

183団体

(280メニュー)

# 「学校支援メニュー」の【詳細】画面(例)

あんぜん 安全	かがく(りすう) 科学(理数)	きんゆう・けいざい 金融・経済	こくさいりかい 国際理解	しぜん・かんきょう 自然・環境
しょくいく 食育	うんどう・しぜんたいけん スポーツ・運動・自然体験	ふくし 福祉・ボランティア	ぶんか・でんとう・げいじゆつ 文化・伝統・芸術	た その他

## “食育” - しょくいく -

機関・施設・団体名	テーマ	対象				
		小	中	高	般	
〇〇株式会社	滋賀の伝統食を知ろう!					
株式会社□□	食育一朝ごはんの大切さと体験・実習	幼	小	中	高	

>> **テーマ** をクリックすると、  
 さらに詳しい内容や謝金・交通費  
 の要・不要などが載っています

機関・施設・団体名	株式会社 □ □
テーマ	食育 一朝ごはんの大切さと体験・実習
対応できる主な内容	栄養士が、「食の大切さ」について体験・実習を通して楽しくお話します。…略
対象	小学生・中学生・高校生・一般
対応教科等	家庭、総合的な学習の時間、生活、特別活動
形態	出前
謝金	不要
旅費(講師・スタッフ)	不要

:

**対象学年や対応する教科等を明記**

# 連携授業を創りあげるプロセス

## 学 校

(幼・小・中・高・特別支援学校・PTA等)

単元の導入、まとめ、発展的な  
学習を踏まえた教育課程の編成

## 支援者

(地域の人々や企業・団体・NPO等)

専門的な知識や技能を  
学校支援メニューとして提供

⑤ 入念な打ち合わせ  
教育課程への位置付け

学校支援

① 依頼・相談

④ 紹介

願いをつなぐ

子どもを軸として、社会全体で  
子どもの育ちを支える

③ 提案・回答

② 問い合わせ

## しが学校支援センター

学校支援ディレクターを配置

学校と支援者をコーディネートし、連携授業をともに創りあげていく。

# 学校と支援者のWin-Winの関係づくりのために

NO.1



県生涯学習課内 しが学校支援センター

## 地域の力を学校へ ～連携授業ガイド～

支援者との当日までの事前の確認や注意点、また授業後のフィードバック等について参考にしてください。

～連携が初めての先生も、経験ある先生も～ 次のポイントをチェック！

### 1 まずは、担当者をしっかり決めて支援者とのやりとりを

学級の先生が担当される場合は、教頭先生や教務主任の先生、「学校と地域を結ぶコーディネーター担当者」等の先生に、途中経過も伝達していただいておくことを要する場合も安心です。

### 2 要望事項などは遠慮せず支援者にお尋ねください

支援者によっては、「学校支援メニュー」の内容を一部変更することも可能です。逆に、支援者が知っておいた方がよい学校の情報等は、事前に必ず伝えてください。

### 3 支援者との打合わせは確実に（顔を合わせて、電話、メール、FAX等）

準備～当日の流れ までの詳細を、事前に確認しておくことが、成功の秘訣です。確認すべき内容は、添付のチェックリスト(NO.2)を是非、参照してください。FAXやメールでやり取りすると記録が残り、漏れや行き違いの発生を防ぐことができます。

### 4 学校内では、連絡・情報の共有化を

特に連携当日の動きは、学校内での連絡を確実に、情報を共有しておいてください。また、授業が休憩時間をまたぐ場合は、児童・生徒の対応等お願いいたします。

### 5 連携授業終了後は、支援者へのフィードバックを

学校内でのフォローとともに支援者へのフィードバックまでが連携授業と考えていただくことで、今後の学校支援メニューの充実にもつながります。

NO.2



## 地域の力を学校へ ～連携事前ガイド～

### 連携授業 事前チェックリスト！

#### 打ち合わせでの事前確認事項

- 学校・園としての学習のねらいは？  支援者の授業内容(準備物等)の確認は？
- 依頼文は？  謝金・交通費は？
- 連携授業の実施日時、実施場所は？( 月 日 時 分 ～ 時 分 )  
( )
- 支援者の学校到着の予定時間、来校方法(駐車場の確保)は？( 時 分頃 )

#### 連携授業当日

- 授業に臨む児童・生徒の心構えは？  支援者が到着後、案内する担当は？
- 授業のはじめに、支援者の紹介は誰が？  授業の最後のお礼の言葉はどうする？
- 授業終了後の支援者対応の担当は？

#### 連携授業後のフィードバックについて

(例)

- ・児童、生徒が授業後に書いた感想文(抜粋)やお礼文を、支援者に送る。
- ・学校だよりや学級だよりなど連携授業について掲載したものを、支援者に送る。
- ・学校、園の担当者が、お礼の電話を入れる。 など

お気軽にご相談ください

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 「地域の力を学校へ」推進事業

しが学校支援センター TEL 077-528-4654

FAX 077-528-4962

メール ma0601@pref.shiga.lg.jp

詳しくは… **におねっと** <http://nionet.jp>

もしくは

**におねっと/検索**

ウツロウ

# 学校支援メニュー 総括版



滋賀県教育委員会

これまでに発行した「学校支援メニュー」  
ハンドブック(4冊)に掲載している「学校  
支援メニュー」をまとめたもの。

総括版 平成28年3月

3,500冊作成



県内公立学校および支援者等に配布

教員が職員室等で、必要な時に、いつでも、  
気軽に情報を得、問い合わせることができる  
環境づくりを各校にも依頼。

## 〔近年の学校や地域の現状と課題〕

- 学校が抱える課題が著しく複雑化・困難化し、教員の抱える業務が肥大化。
- 学校のみならず、家庭や地域との協働により、ともに力を合わせ、子どもの育ちを支えていく必要がある。
- 地域では都市化や過疎化、家族形態の変容、地域社会等のつながりや支え合いが希薄化。
- 地域住民と学校との接点が少なく、地域住民が地域の子どもたちに関わる機会が少ない。
- 豊富な地域資源を生かす機会や場が少ない。
- 保護者や地域住民等が力を合わせて、子どもたちの学びや育ちを支援し、次代を担う人づくりを地域ぐるみで進めていく必要がある。

## 地域住民等の連携・協働により社会全体で教育を担う体制の充実強化

### 地域学校協働活動の拡充

### 「地域の力を学校へ」活用促進

- 市町が行う、地域住民等がボランティアなどを通じて組織的に学校の教育活動を支援する仕組みづくりを一層支援。
- 地域コーディネーター（地域C）を配置し、学校のニーズの把握や地域のボランティアの発掘、広報活動等を積極的に行うことで、地域住民等との相互理解を深め、「**地域とともにある学校**」への転換を図る。
- 全ての公立小中学校の校務分掌に位置付けている「学校と地域を結ぶコーディネート担当者」（学校C）の資質向上を図る研修機会の充実とともに、「学校支援メニュー」の活用促進を図り、**地域Cと学校Cが連携**を深め、**地域資源の積極活用**を図る。



## 《成果・期待される効果》 近江商人の「三方よし」の理念

### ○子どもにとって

- ・専門的な知識や技能を持つ地域住民等とのふれあいを通じて、創造性あふれる学びや体験活動が充実。
- ・地域の人々と顔見知りになり、地域社会とのつながりが意識され、地域の担い手としての自覚が高まる。
- ・多様な経験を積むことで、学習意欲が喚起され、自ら課題を解決しようとする資質や能力が育まれる。

### ○学校にとって

- ・地域住民等の理解と協力を得て、地域資源を生かした授業づくりが進められる。また、学校支援ボランティアが組織化されると、教員の異動に関わらず、持続可能な学校支援体制が担保される。
- ・子どもの教育を保護者や地域住民等とともに担うことで、ひいては教員の負担軽減につながり、子どもと向き合う時間が増える。

### ○地域にとって（企業・団体・NPO等の支援者を含む）

- ・地域住民等が自らの経験や知識を子どもの教育に生かすことで、生きがいや自己実現の機会や場がつけられる。地域の子どもと顔見知りになり、ひいては、地域住民同士も顔と名前が一致する関係が進む。
- ・学校を舞台に地域の緩やかなネットワークが形成され、新たな地域コミュニティがつけられる。

**10年後、20年後の地域の将来を担う人を育てる**